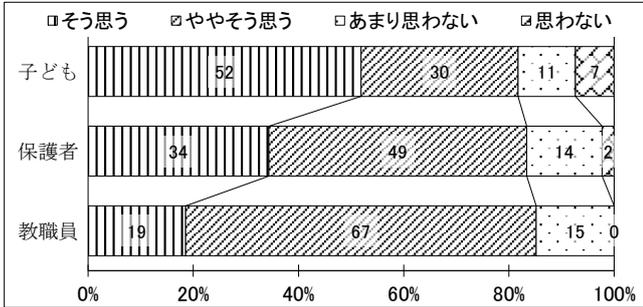


令和6年度 子どものための学校評価 結果

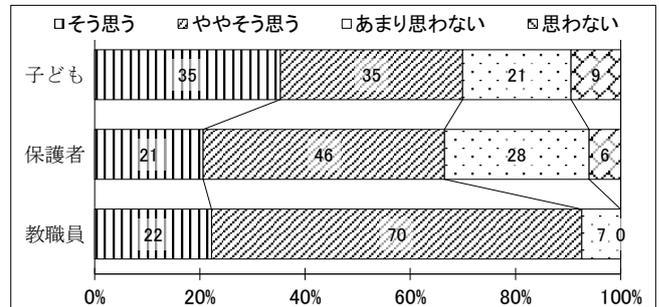
児童・保護者・教職員の自己評価について、比較が可能な質問項目については比較しましたが、必ずしも同じ質問表現にはなっていないかもしれません。ご了承ください。また、項目ごとに四捨五入をしてあるため合計が100にならないところがあります。

【学校全体について】

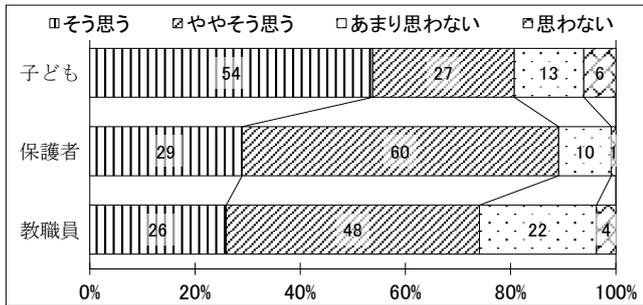
1 子どもにとって、学校は楽しいところか。



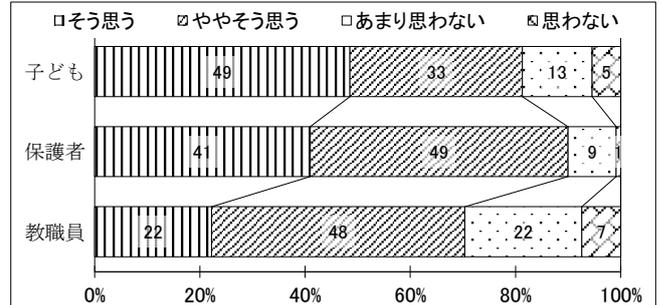
2 子どもは困ったときに先生に相談できるか。



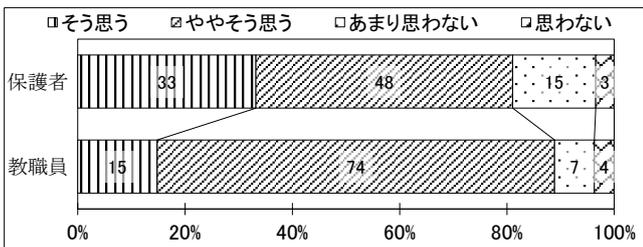
3 お便り等で開かれた学校づくりに努めたか。お便りを家で見せたか。



4 公開授業等で開かれた学校づくりに努めたか。



5 心配なことなどを学校に相談できるか。

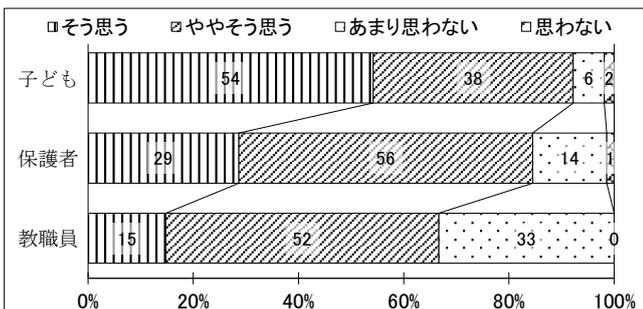


「先生に相談できる」という質問に対して、教職員が感じているよりも子どもたちは相談するのを遠慮しているようです。私たち教職員は、子どもたちが相談しやすいと感じられるようにしていきたいと考えています。

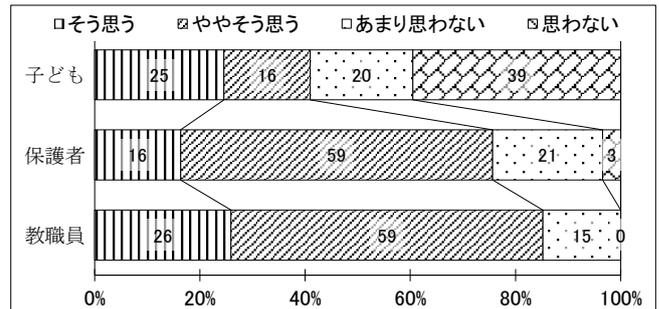
昨年度と比べると、「お便りを家の人に見せているか」という質問に対して、子どもたちの「いつも見せている」が、13ポイント上がっていました(41→54)。学校のことをお家の人に伝えようとする姿勢が伝わってきました。今後も紙面やアプリ配信を活用して学校の様子をお伝えしていきます。

【生活について】

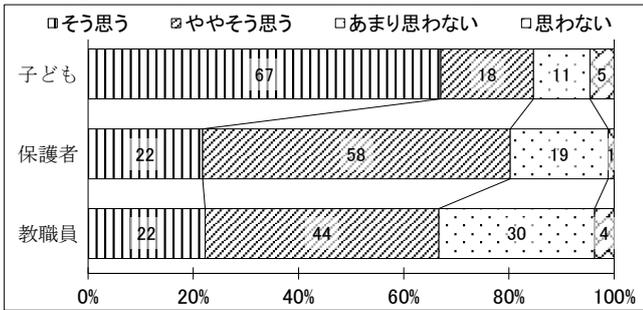
6 思いやりのある心を育むことができたか。人に優しくしているか。



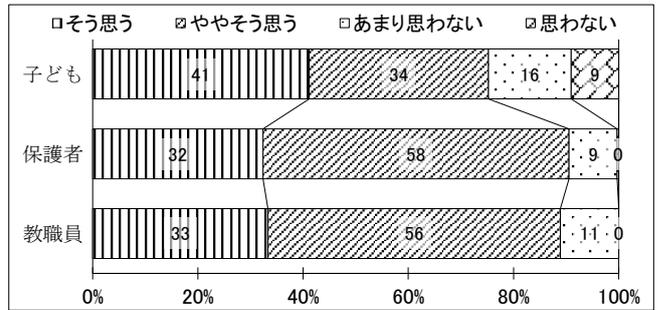
7 いじめ防止や早期発見・対応に努めたか。友達関係で嫌だと思わなかった。



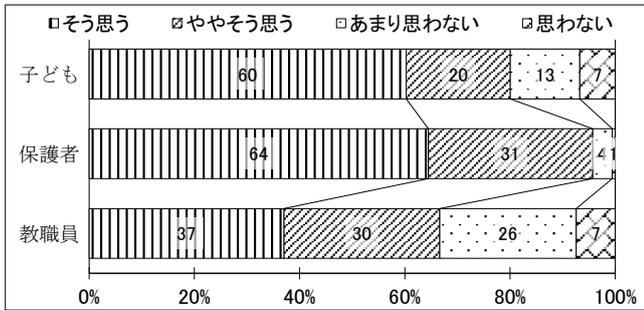
8 健康でたくましい体づくりに努めたか。



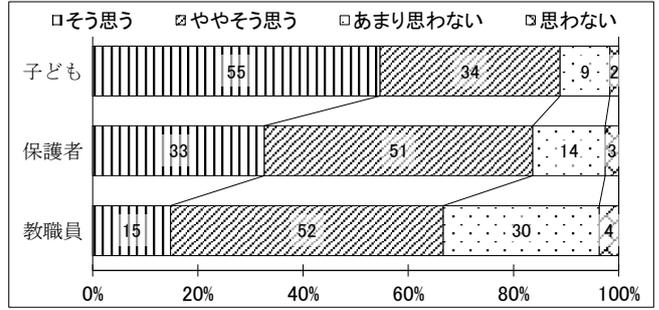
9 良いところをほめて伸ばすことができたか。自分にはよいところがあるか。



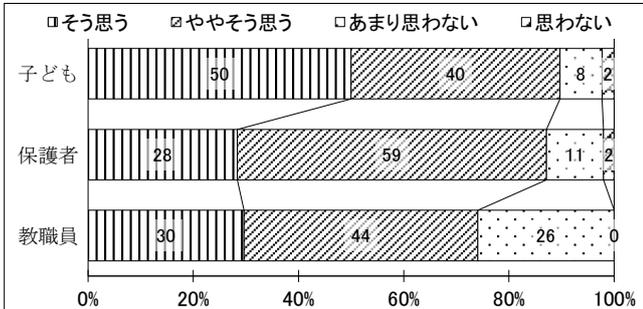
10 給食を通して、食に対する意識を高められたか。



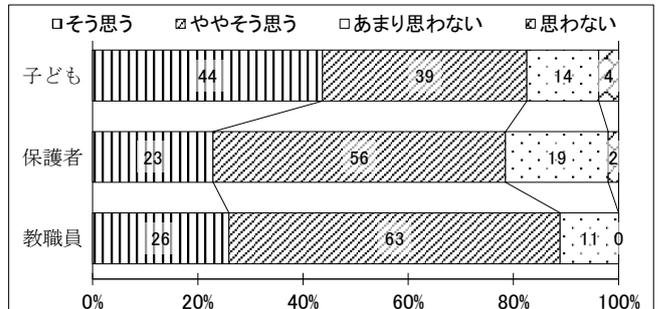
11 交通安全・交通ルールを守れているか。



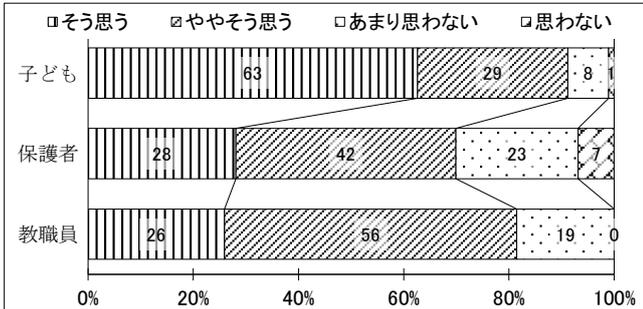
12 基本的な生活習慣を育むことができたか。



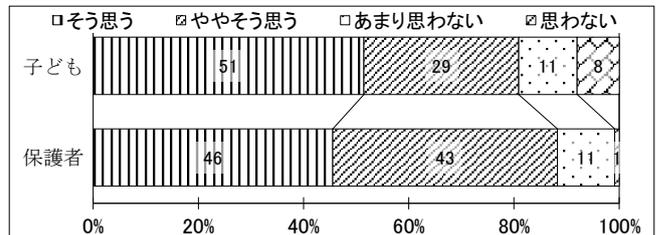
13 あいさつや正しいことばづかいなどを身に付けることができたか。



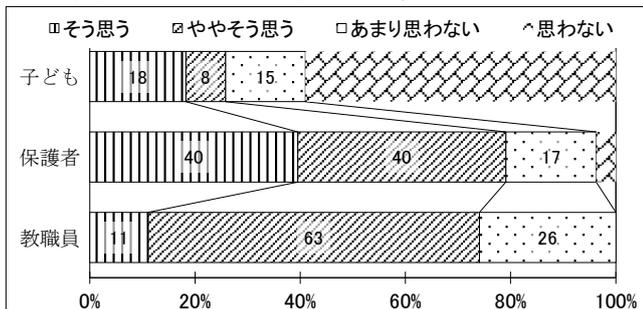
14 自分の係などの仕事をきちんと果たしているか。



15 家の人と学校のことを話しているか。



16 情報モラルの向上に努めたか。



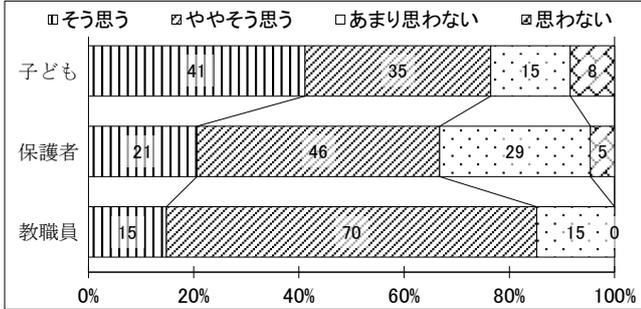
思いやり・体づくり・交通安全・あいさつや返事・自分の役割についてなど、たくさんの項目で、大人が思っているよりも多くの子どもたちが「できる」と回答しました。子ども自身のできている気持ちを大切に、できていることをほめながら、大人の目から見て不十分と感じられるところをご家庭と協力しながら伸ばしていきたいと思ひます。

「自分にはよいところがある」の質問の対して、肯定的な回答の割合が昨年比で上がりました(69→75)。自分自身ができるようになったことを、学期の振り返りで行った成果だと思ひます。今後も子どもたちのできることに対して声をかけ、自信をもたせていきたいです。

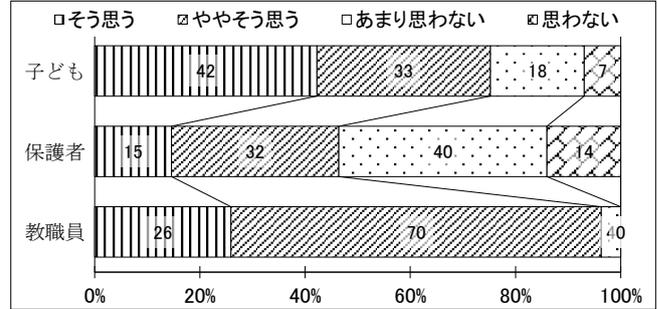
「家の人と学校のことを話しているか」の質問で、学校であったことを家で話していると答えた子どもが、保護者の方と比べ少なかったです。保護者の方から、子どもたちに学校の様子を尋ねてもらっていることが多いのでしょうか。これからも引き続きお願いしたいと思ひます。

【学習面について】

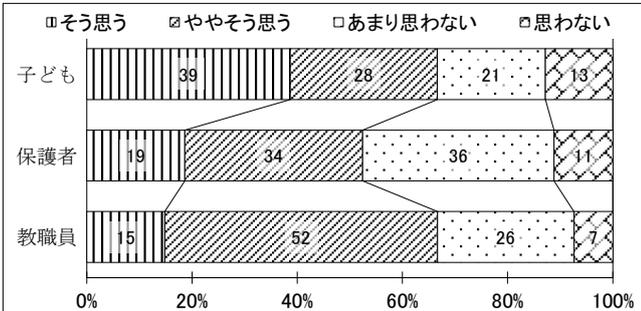
17 授業は楽しいか。楽しい授業にできたか。



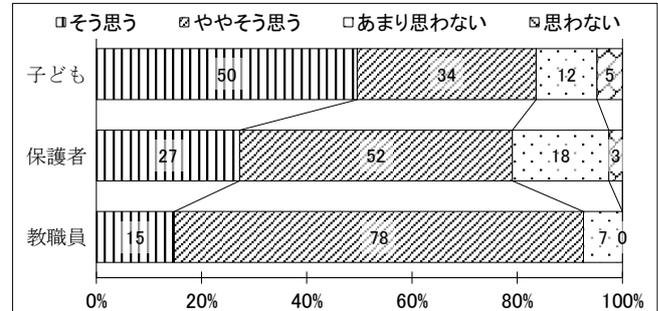
18 子どもはすすんで授業に取り組めたか。(教職員:取り組める工夫をしたか。)



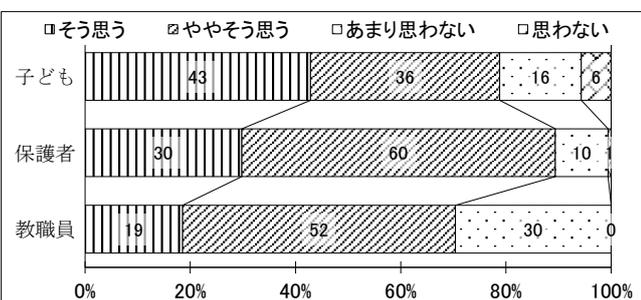
19 家庭学習に取り組めたか。



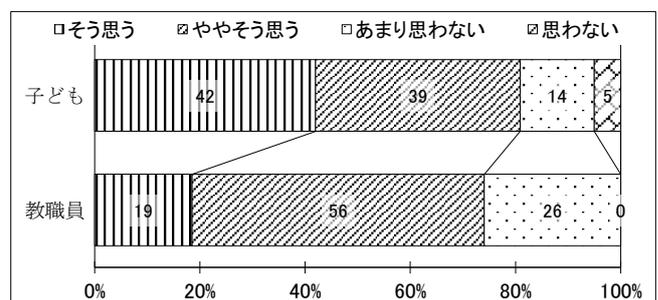
20 授業の内容はわかるか。(教職員:分かる授業の実践に努めたか。)



21 漢字の読み書き、計算はできるか。



22 主体的な学びを作り出す授業を行えたか。主体的に学べたか。



「授業は楽しい」(83→79)「すすんで授業に取り組んでいる」(81→75)「授業の内容はわかる」(67→53)の各項目において、肯定的な回答の割合が昨年比で比べや下がっています。児童一人一人に目を向けて、子どもたちが楽しく感じられる授業の改善をしていきたいと思ひます。

家庭学習については、自分から進んで取り組めた児童が、昨年と比べ増えました(53→79)。ご家庭でのサポートのおかげだと思ひます。今後もよろしくお願ひいたします。



保護者の意見		回答
学習	・児童同士で勉強が分からない子のサポートをしている場面を見て、素晴らしいと思いました。	協働的な学びを通して深い学びへとつなげられるよう、これからも取り組んでいきます。
学習	・宿題を自分から積極的にやってくれません。 ・自主勉強ノートでの宿題が苦手なようです。学校の方で意欲的に学びに向かえるような内容を考えてほしいです。	自分の興味のあることを調べてみたい、何を勉強すればよいのか自分で考えるのは苦手、と様々な児童がいます。それぞれに合った学習支援が行えるよう、努力していきます。
生活	・タブレット端末は重いので、タブレット端末を持ち帰る日は必要ない教材は学校に置かせてほしいです。	各学年で、家庭学習のために持ち帰る必要があるものは検討しています。タブレット端末を持ち帰る日については、無理のないように配慮していきます。
学校行事	・授業参観のとき、出前授業ではなく普通の授業がみたいです。	今年度は、保護者の方にも一緒に聞いていただきたい内容のものは保護者の方が参加しやすいように取り入れました。次年度の参考にさせていただきます。
連絡方法	・個人情報載っているもの以外は、プリントではなく、れんらくアプリで送ってほしいです。プリントでは大切なものも親に届かないことがあります。	基本的には、児童と一緒に確認したいものはプリントで配付し、保護者宛のものはれんらくアプリで配信をさせていただいています。大切なものはできるだけれんらくアプリでも配信させていただきます。
登下校	・通学班の様子を見ていて、高学年の子が低学年の子にあまり声をかけたりしないので、置いていかれてしまい大丈夫かなと気になります。高学年の皆さんは思いやりのある行動をしてほしいです。	毎週、通学班担当が班長に、通学班ノートの記録をもとに声かけをしています。また、通学班会議で登下校の様子を確認しています。ご家庭でも声かけをよろしくお願いいたします。